

平成30年度

教育委員会事務事業点検評価報告書

矢巾町教育委員会

### 1 点検・評価制度の概要

この報告書は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項の規定により、「教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない」ことに基づき、作成するものである。これにより、効果的な教育行政の推進を図るとともに、住民への説明責任を果たすことを目的とする。

#### <参考>

地方教育行政の組織及び運営に関する法律

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務(前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務(同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。))を含む。)の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

### 2 教育委員会の評価の考え方

評価の区分	年度目標達成度
A 目標を達成できている	90%以上またはさらに新たな目標を設定できる場合
B 概ね達成できているが、改善を要する	概ね50%以上90%未満または主要事務事業の取組方法を見直す必要がある場合
C 次年度以降の課題を要する	50%未満または主要事務事業を根本から見直す必要がある場合

### 3 学識経験者の知見の活用

点検及び評価の客観性を確保するため、学識経験者の知見を活用することとした。

第7次矢巾町総合計画前期基本計画における、まちづくりの方針の中の「時代を拓き次代につながるひとづくり」の分野において、幼児教育・保育の支援、学校教育の充実、青少年の健全育成、生涯学習の充実、スポーツ・レクリエーション環境の充実、芸術・文化活動の推進についての行政施策が、教育委員会の業務として位置づけられており、その取組みの成果として、どのくらい達成できたかとの視点から、「重点施策—具体的施策—主要事務事業」の体系により推進してきた概要と成果について、点検及び評価を行う評価者として次の3人の方をお願いした。

氏名	職業等
佐々木 文子	無職
矢幅 智	無職
金子 卓嗣	無職

4 平成30年度教育委員会活動報告

(1) 教育委員の選任状況

(平成30年4月1日～平成30年9月30日)

職	氏名	職業	備考
教育長	和田 修	無職	任期H29. 4. 1～H31. 9. 30
委員(職務代理者)	大坊 一男	農業	任期H27. 10. 1～H31. 9. 30 (職務代理者任期 H29. 12. 25～H31. 9. 30)
委員	掛川 はるな	会社員	任期H28. 10. 1～H30. 9. 30
委員	齊藤 学	会社員	任期H29. 4. 1～H32. 9. 30
委員	漆原 祥子	無職	任期H29. 12. 23～H33. 12. 22

(平成30年10月1日～平成31年3月31日)

職	氏名	職業	備考
教育長	和田 修	無職	任期H29. 4. 1～H31. 9. 30
委員(職務代理者)	大坊 一男	農業	任期H27. 10. 1～H31. 9. 30 (職務代理者任期 H29. 12. 25～R1. 9. 30)
委員	掛川 はるな	会社員	任期H30. 10. 1～H34. 9. 30
委員	齊藤 学	会社員	任期H29. 4. 1～H32. 9. 30
委員	漆原 祥子	無職	任期H29. 12. 23～H33. 12. 22

(2) 教育委員会会議開催状況

議案番号	報告番号	件名	会議種別	会議日
	1	平成30年度矢巾町学校教育推進計画について	定例	4月20日
	2	矢巾町教育委員会の活動報告について	定例	4月20日
1		矢巾町スポーツ推進委員の委嘱について	定例	4月20日
2		矢巾町体育振興委員の委嘱について	定例	4月20日
3		矢巾町文化会館運営委員会委員の委嘱について	定例	4月20日
4		矢巾町歴史民俗資料館運営審議会委員の委嘱について	定例	4月20日
5		矢巾町奨学生選考委員会委員の委嘱について	定例	4月20日
	3	平成30年度矢巾町社会教育計画について	定例	5月25日
	4	平成30年度矢巾町立小中学校評議員の委嘱について	定例	5月25日
	5	矢巾町社会教育委員及び公民館運営審議会委員の委嘱について	定例	5月25日
	6	矢巾町教育委員会の活動報告について	定例	5月25日
6		平成29年度教育委員会事務事業点検評価について	定例	5月25日
7		平成30年度教育委員会事務事業点検評価の成果目標について	定例	5月25日
8		町内小中学校の夏季休業中の学校閉庁について	定例	5月25日
	7	平成30年度矢巾町一般会計補正予算第1号(教育委員会関係)について	定例	6月28日
	8	矢巾町私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱の一部を改正する告示について	定例	6月28日

議案 番号	報告 番号	件 名	会議 種別	会議日
	9	矢巾町スポーツ推進審議会委員の委嘱について	定例	6月28日
	10	矢巾町教育委員会の活動報告について	定例	6月28日
	11	矢巾町教育委員会の活動報告について	定例	6月28日
9		平成31年度使用中学校（道徳）の教科用図書の採択について	定例	6月28日
10		矢巾町指定無形民俗文化財の指定について	定例	6月28日
	12	矢巾町教育委員会の活動報告について	定例	8月31日
	13	平成30年度矢巾町一般会計補正予算第2号（教育委員会関係）について	定例	9月28日
	14	矢巾町教育委員会の活動報告について	定例	9月28日
11		矢巾町立中学校部活動指導員の設置に関する規則について	定例	9月28日
	15	矢巾町教育委員会の活動報告について	定例	10月26日
	16	矢巾町教育委員会の活動報告について	定例	11月22日
	17	平成30年度矢巾町一般会計補正予算第4号（教育委員会関係）について	定例	12月20日
	18	矢巾町教育委員会の活動報告について	定例	12月20日
	19	矢巾町教育委員会の活動報告について	定例	1月28日
臨1		平成30年度児童生徒顕彰候補者の審査について	臨時	2月1日
臨2		平成31年度教育行政方針（案）について	臨時	2月8日
	20	矢巾町教育委員会の活動報告について	定例	2月28日
12		教職員の人事異動の内申について	定例	2月28日
	21	平成31年度矢巾町一般会計予算（教育委員会関係）について	定例	3月22日
	22	平成30年度矢巾町一般会計補正予算第6号（教育委員会関係）について	定例	3月22日
	23	矢巾町立学校通学区域審議会条例について	定例	3月22日
	24	矢巾町いじめ防止対策に関する条例の一部を改正する条例について	定例	3月22日
	25	矢巾町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	定例	3月22日
	26	矢巾町立学校通学区域検討委員会の規則を廃止する規則について	定例	3月22日
	27	矢巾町教育委員会行政組織規則の一部を改正する規則について	定例	3月22日
	28	矢巾町立小中学校管理運営規則の一部を改正する規則について	定例	3月22日
	29	矢巾町教育委員会の活動報告について	定例	3月22日
	30	職員の人事異動について	定例	3月22日
13		平成30年度児童生徒顕彰候補者の審査について	定例	3月22日

## (3) 教育委員会議以外の活動状況

学校訪問、各種会議、大会、研修会等

月 日	実施校、大会・研修名等	場所	参加委員
4月2日	矢巾町立小中学校教職員着任式	矢巾町	和田教育長、大坊教育長職務代理者 齊藤委員、漆原委員
4月20日	紫波郡地方教育委員会連絡協議会総会	矢巾町	和田教育長、大坊教育長職務代理者 掛川委員、齊藤委員、漆原委員
7月2日	学校訪問(煙山小、矢巾東小、矢巾中、学校給食共同調理場)	矢巾町	和田教育長、大坊教育長職務代理者 掛川委員、齊藤委員、漆原委員
7月2日	総合教育会議	矢巾町	和田教育長、大坊教育長職務代理者 掛川委員、齊藤委員、漆原委員
7月12日	東北六縣市町村教育委員会連合会教育委員・教育長研修会	山形県 山形市	和田教育長、大坊教育長職務代理者 齊藤委員
10月2日	公開研究会(日詰小学校)	紫波町	和田教育長、掛川委員、漆原委員
10月19日	公開研究会(彦部小学校)	紫波町	和田教育長、大坊教育長職務代理者 齊藤委員、漆原委員
11月8日	総合教育会議	矢巾町	和田教育長、大坊教育長職務代理者 掛川委員、齊藤委員、漆原委員
11月8日	公開研究会(矢巾北中学校)	矢巾町	和田教育長、大坊教育長職務代理者 掛川委員、齊藤委員、漆原委員
平成31年 2月7日	総合教育会議	矢巾町	和田教育長、大坊教育長職務代理者 齊藤委員、漆原委員
2月23日	児童生徒顕彰メダル授与式	矢巾町	和田教育長、大坊教育長職務代理者 掛川委員、齊藤委員、漆原委員
3月22日	矢巾町立小中学校教職員離任式	矢巾町	和田教育長、大坊教育長職務代理者 掛川委員、齊藤委員、漆原委員

## 5 学識経験者の総評

矢巾町教育委員会が所管する各施策、事務事業の管理及び執行の状況について、点検及び評価を行った結果の総評は次のとおりです。

### (1) 学務課関係について

- ① 学校教育においては、児童生徒個々に寄り添った事業が実施され、専門員の配置や綿密な連携対応により成果が出ているので、今後も継続して取り組んでいただきたい。
- ② 児童生徒の学力向上については、定着度調査等により実績値が出されているが、教員の授業力向上と合わせて尚一層向上するよう取り組まれない。
- ③ 家庭、地域と協働した学校経営の項目では、復興教育や防災教育の実施、子ども議会やヒューマンセミナーの取り組みにより将来のまちづくりや社会性を育む機会を与えている。副読本も活用し今までの町の成り立ちと共に未来のまちづくり意識を醸成していただきたい。
- ④ いじめ問題の取組みについては、実態の把握や相談を実施し、未然防止、早期発見、早期対応に努められている。ぜひ継続して取り組んでいただきたい。
- ⑤ 通学時の児童生徒の安全については、全国で相次ぐ事件事故が発生している状況であるが、本町においてはスクールガードによる見守りや施設整備の点検がなされており安全が確保されている状況である。今後も事件事故が発生しないよう継続して取り組みをお願いしたい。

### (2) 社会教育課関係について

- ① 青少年の健全育成については、教育振興運動に基づく研修会や様々な組織活動が行われており今後も期待するところである。しかし、青少年指導者協議会の活動が休止状態となっており、根本から見直す必要があるのか検討が必要である。
- ② 生涯学習の充実においては、各年代と様々なニーズに合わせたセミナーや教室が開催されており、昨年度より一層充実した結果となっている。また、図書センターの事業については町民が本に親しむ機会を多く作り活動されているので、今後それぞれの目標値を設定して成果を上げるよう工夫されたい。
- ③ 生涯スポーツの推進においては、施設設備が改修更新され競技環境の充実とともに、各種目の団体組織も増えており、競技力の向上につながり成果が上がっている。

- ④ 文化芸術活動の推進については、各種芸術文化団体への支援、住民参加型事業が多く開催され多くの住民が参加していることは望ましいことである。特に音楽のまちづくり事業は様々な形で実施されており、なお一層活動を継続され、音楽の普及に努められたい。
- ⑤ 文化財の保護と活用については、史跡徳丹城の保存活用とともに他の有形無形文化財についても、より一層活用を図っていただきたい。

事業の概要と成果全般について、多岐にわたる施策、事務事業が実施されているが、事業実施内容のみ記されているところがあり、その結果についてできるだけ数値等で表すことにより具体的な成果が見えるので、次年度から取り組んでいただきたい。

また、改善を要する項目もあることから目標達成のための指標や評価項目については、随時見直しを行い、教育委員会として更なる成果の向上に努められたい。